

04

A SLIGHTLY OLD SPORTS

CAR Division

[ちょっと古いスポーツカー部門]

その性能のほかに、記号性も求められるのがスポーツカーの世界。
現役当時に存在感の薄かったクルマたちのなかには
だから時を経て輝きを増すものがある。Text: 加納亨介



大穴度★★★★★
 タマ数★★
 極上車残存率★★
 動力性能★★
 ファン度★★
 大人度★★★



ちょっと古い
 スポーツカー部門
 大穴大賞

スポーツカーの(大穴の)王様

RENAULT ALPINE V6 TURBO

このフランス製スポーツカーがい
 つも伏兵的な扱いを受けるの
 は、リアエンジン/リアドライブという
 基本レイアウトのせいだ。ボルシェ
 911というスポーツカーの絶対神がそ
 こに居座り続けているからである。
 1964年に降臨したこの神様は、初代
 のイメージを保ち続けて未だ現役の天
 然懐古趣味。いっぽうこちらアルビー

ヌとはいえば、1966年登場のA110を
 早くも5年後に刷新。例のレイアウトを
 変えぬまま、モダンで尖ったエクス
 テリアを与えられてA310となった。以
 降アルビーヌV6を経てA610へと進化
 を重ねるのだが、今思えばこのモダ
 ンなエクステリアが伏兵生活の始まり
 だったのかもしれない。もしA110の古
 典的イメージを今も漂わせていたとし

たら、よもやアルビーヌが神様に……。
 いやそれはないな、相手が悪すぎる。
 でももしそうなら、まだ現役た
 りえたかもしれない。ともあれ、つきな
 みではあるけれど「ちょっと古いスポ
 ツカー部門」の大穴大賞はアルビーヌ
 V6ターボである。

野田編集長が以前プライベートカー
 としてこのクルマに乗っていた(2003年



8月号参照)。パールホワイトも美しい
 そいつは、神様と違って一見さんにも
 優しかった。PRVのV6は発進からとて
 も扱いやすく、なにより元はサルーン用
 エンジンだからメンテナンスに気を遣
 わずに済むのがいい。とはいえ、あた
 かも温室のごとくガラス張りのエンジン
 ルームは水温上昇を招き、FRP製ボデ
 ィパネルはゆがんで塗装にヒビを入れ
 る。しかしそこはそれ、車両代は高くとも
 100万円台に収まる。同年代の神様
 より100万円単位で安いのが、そ
 のごく一部でも対策費に回せばいい。
 ハンドリングやエンジン音などといった
 感覚性能では神様に及ばないが、尖
 ったエクステリアは今となってはなかな
 かの雰囲気。かつて伏兵生活の原因と
 なったこのカタチは、時の流れとともに
 大穴タイトル獲得の一助となった。

Photo: 松本高好/高橋信宏



04 A SLIGHTLY OLD SPORTS CAR Division

[ちょっと古いスポーツカー部門]



絶 対神たるボルシェ911は、長き
 にわたって一族の者をも寄せ付
 けることなくその神格を守り通してきた。
 最近でこそボクスターの台頭が目覚ま
 しいけれど、それまでは危うい雰囲気
 すら皆無だったのだ。だから911以外
 のちょっと古いボルシェは、ことごとく大
 穴体質である。実際の販売台数はとも
 かく、なんとはなしに薄っぺらな存在感
 が気が掛かる。ボルシェといたら、こ
 の地球上ではあのカエル顔を指すの
 だ。ボクスターはただ、そのことに気が
 付いただけなのかもしれない。

944の話だった。オリジナルは1976
 年にデビューした924だが、そちらはア
 ウディのエンジンやVWのサスペンシ
 ョンパーツを流用した、まあたしかに存
 在感に疑問を持たれても仕方のない
 クルマだった。しかし1981年登場の
 944は、カタチこそ似ているもの

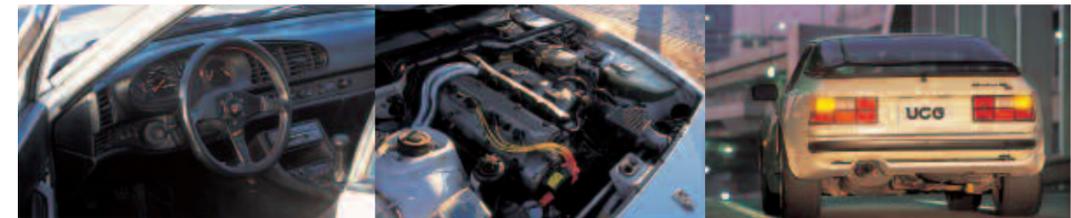
れとはまったくの別物である。迫力あ
 るプリスターフェンダーは単に太いタイ
 アを覆うためだけにあるのではなく、よ
 り高度な旋回性能を求めてホイールア
 ライメントを整えた結果の産物だ。前
 後重量バランスの点で勝るフロントエ
 ンジン/リアドライブ、そしてトランス
 アクスルの基本レイアウトとあわせ、
 神をも凌ぐようなコーナリングマシー

となったのである。ボルシェ自製の直
 列4気筒ユニットは当初2.5Lからスター
 トし、S2と呼ばれる最終型では3Lま
 で拡大。多気筒化全盛の今となっては
 他に比較するものがないほど気筒容積
 の大きなこのエンジンは、ビッグトルク
 と4気筒ならではの軽快感を兼ね備え
 ており、芳醇な回転感とともに今でも
 魅力たっぷりだ。それがいまや最終91

年式でも100万円台。ある意味、これ
 は神のご加護である。

ボルシェは極めてマジメなメーカ
 だ。生まれながらに大穴体質のモデル
 とて、なにも手を抜いて開発したから
 そうなっただけではない。ただ周囲が
 (UCGが?)なんとなくそうした印象を抱
 いてしまっているだけだ。

Photo: 高橋信宏



神のご加護があつてこそ

PORSCHE 944

大穴度★★★
 タマ数★★★★
 極上車残存率★★★
 動力性能★★★★
 ファン度★★★★
 大人度★★